

# ミニディスクロージャー 誌

平成 24 年 3 月期・営業の中間ご報告

INTERIM MINI DISCLOSURE 2011

HOKURIKU HOKKAIDO Tokyo・Nagoya・Osaka



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group, Inc.

地域とあなたのために  
もっと。

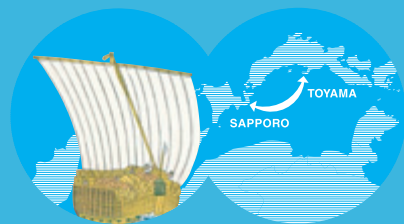
# 北前船

日本海文化交流事業

みちのく丸寄港記念イベントの開催



北前船交易は、かつて北海道開拓に寄与し、北陸経済においても地域経済を支える産業の礎となりました。この夏、青森、岩手、北海道の船大工の手によって復元された北前船「みちのく丸」(青森・みちのく北方漁船博物館財団所有)が、かつて物流と文化交流の中心をなした日本海を航海し、ゆかりの10道県の寄港地を巡りました。小樽港では北海道銀行が、伏木富山港では北陸銀行が寄港記念イベントに特別協賛し、各港では、船内見学、船外展示などを通して北前船文化を伝えるとともに、東北復興支援の一環として物産品の販売等が行われ、多くの来場者で賑わいました。



皆さまには、日ごろより当社をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

ここに、ほくほくフィナンシャルグループの「ミニディスクロージャー誌(平成24年3月期・営業の中間ご報告)」をお届けいたします。

本誌では、当社の平成23年度中間期の業績や地域金融機関としての取り組みなどについてご紹介しております。ぜひご一読いただき、当社に対するご理解の一助としていただければ幸いです。

傘下の北陸銀行、北海道銀行では、おかげさまでままして本年5月から横浜銀行とシステムの共同利用を開始し、安定的に稼動いたしております。今後はシステムの戦略的な活用により、事務の共通化、バックオフィスの共同化などグループのシナジー効果を加速させ、経営の改善につなげてまいります。

また、東日本大震災で被災された皆さまには、資金繰り相談など、早期復興のお力になるよう努めてまいります。

これからも経営理念であります「地域共栄」の精神で、地域のお客さまとともに発展していくことを目指しております。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



取締役社長 高木 繁雄  
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 堰八 義博  
(北海道銀行 頭取)

## CONTENTS

- |                 |                       |                               |
|-----------------|-----------------------|-------------------------------|
| 02 ごあいさつ        | 11 地域経済活性化のために(北陸銀行)  | 17 財務諸表(ほくほくフィナンシャルグループ単体/連結) |
| 03 業績ハイライト      | 12 トピックス(北陸銀行)        | 19 財務諸表(北陸銀行単体)               |
| 07 グループの概要      | 13 地域とともに(北海道銀行)      | 20 財務諸表(北海道銀行単体)              |
| 08 地域とのかかわり     | 15 地域経済活性化のために(北海道銀行) | 21 株式会社のご案内                   |
| 09 地域とともに(北陸銀行) | 16 トピックス(北海道銀行)       | 22 経営理念                       |

## 営業の概況

## ■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位:億円)

	23年9月期		22年9月期
		前中間期比	
経常収益	1,057	△35	1,092
経常利益	189	9	180
中間純利益	89	△11	100
自己資本比率	11.57%	0.18%	11.39%

## ■ 北陸銀行・北海道銀行

(単位:億円)

	2行合算		
	23年9月期		22年9月期
		前中間期比	
経常収益	973	△25	998
コア業務粗利益	773	13	760
経費(臨時処理分を除く)	514	30	484
コア業務純益	259	△16	276
与信費用	64	△19	83
有価証券等関係損益	12	3	8
経常利益	193	5	188
中間純利益	98	△13	111

(単位:億円)

	北陸銀行		
	23年9月期		22年9月期
		前中間期比	
経常収益	540	△9	550
コア業務粗利益	452	10	441
経費(臨時処理分を除く)	277	11	265
コア業務純益	174	△0	175
与信費用	19	△10	29
経常利益	138	17	121
中間純利益	69	△2	72
自己資本比率	11.62%	0.35%	11.27%

(単位:億円)

	北海道銀行		
	23年9月期		22年9月期
		前中間期比	
経常収益	432	△15	448
コア業務粗利益	321	2	319
経費(臨時処理分を除く)	237	18	218
コア業務純益	84	△15	100
与信費用	44	△9	53
経常利益	54	△12	66
中間純利益	29	△10	39
自己資本比率	10.57%	△0.11%	10.68%

当社における23年9月期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比35億円減少し1,057億円、連結経常利益は前中間期比9億円増加し189億円、連結中間純利益は前中間期比11億円減少し89億円となりました。

連結自己資本比率は、利益の着実な積み上げにより前中間期末比0.18ポイント上昇し、11.57%となりました。

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただき、期末一括配当1株当たり3円75銭を予定しております。

なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

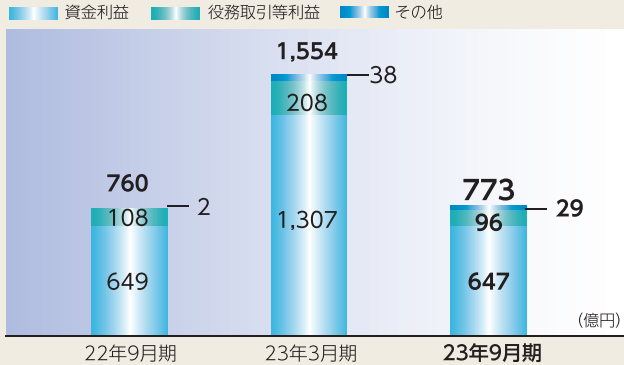
銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、役員取引等利益の減少に加え、3行共同利用システムへの更改にともなう経費の増加もあり、前年度比16億円減少の259億円となりました。

経常利益は、与信費用が減少したことにより、前中間期比5億円増加の193億円となりました。

中間純利益は、固定資産減損処理による特別損失の計上により、98億円となりました。

## 損益の状況

### ■ コア業務粗利益<2行合算>



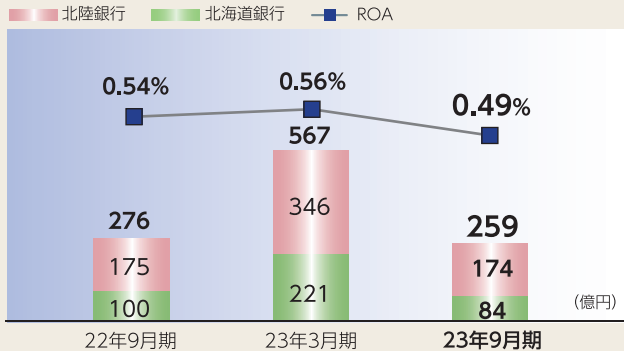
資金利益は、事業性の資金需要が引き続き弱い中、金利の低下による利ざやの縮小により前中間期比1億円減少し647億円となりました。

役員取引等利益は、保険販売手数料の減少により、前中間期比11億円減少し、96億円となりました。

その他においては、金融派生商品収益が増加したことなどにより、前中間期比26億円増加し29億円となりました。

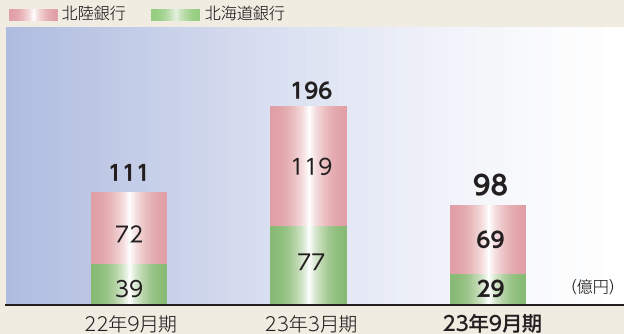
この結果、コア業務粗利益は前中間期比13億円増加し、773億円となりました。

### ■ コア業務純益<2行合算>



コア業務純益は、システム更改にともなう経費の増加により、前中間期比16億円減の259億円となりました。

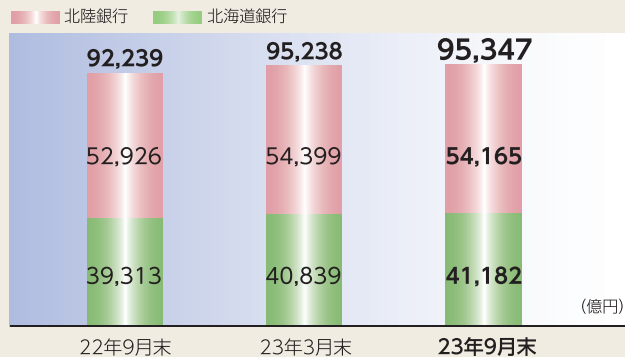
### ■ 純利益<2行合算>



中間純利益は、前中間期比13億円減益の98億円となりました。

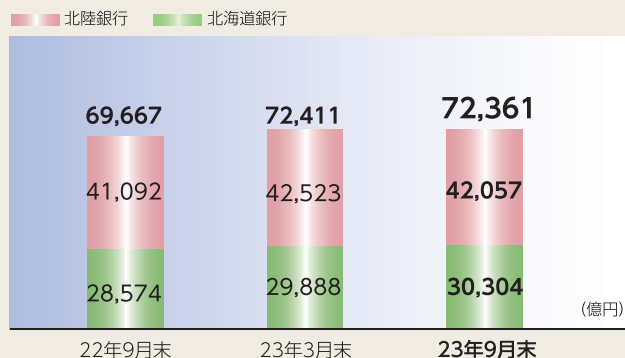
## 預金・貸出金の状況

## ■ 預金(含む譲渡性預金) &lt;2行合算&gt;



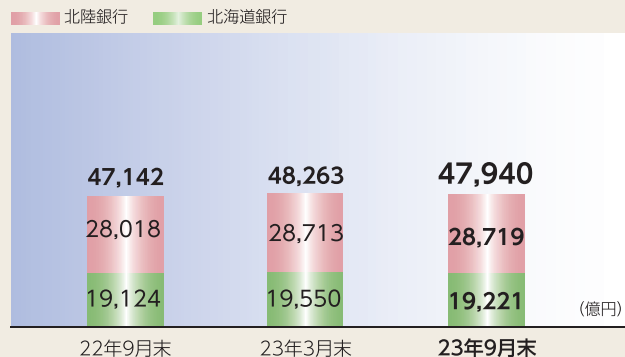
個人のお客さまを主体に、預金は引き続き増勢基調であり、23年3月末比108億円増加の9兆5,347億円となりました。

## ■ 貸出金 &lt;2行合算&gt;



長引く景気の低迷により事業性の資金需要が回復せず、貸出金は23年3月末比49億円減少の7兆2,361億円となりました。

## ■ 中小企業等貸出残高 &lt;2行合算&gt;

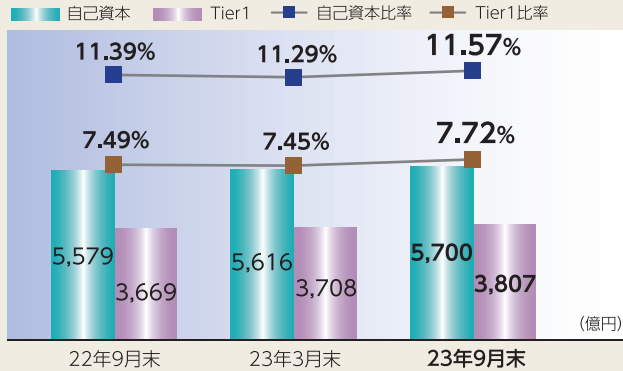


中小企業等貸出残高は、23年3月末比323億円減少し、4兆7,940億円となりました。

円滑な地域金融への取り組みを重要な役割と捉え、積極的に取り組んでおりますが、事業性資金ニーズの伸び悩みから貸出残高は減少しております。

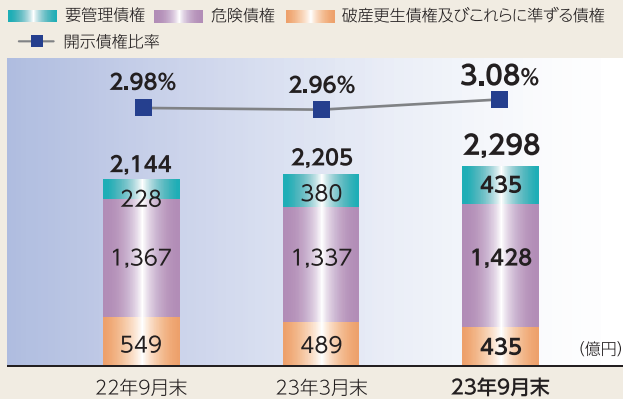
## 健全性の指標

## ■ 自己資本比率&lt;FG連結&gt;



財務の健全性を示す自己資本比率は、23年3月末比0.28ポイント上昇し11.57%となりました。利益の積み上げにより内部留保が増加したことでTier1は23年3月末比99億円増加し3,807億円、自己資本は84億円増加し5,700億円となりました。

## ■ 金融再生法開示債権&lt;2行合算&gt;



景気の低迷が長引く中、金融再生法開示債権は23年3月末比93億円増加し、2,298億円となりました。開示債権比率は3.08%となりました。

## ■ 格付

日本格付研究所  
JCR



格付投資情報センター  
R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行は、JCRおよびR&Iより「A(シングルAフラット)」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ております。

銀行持株会社



Hokuhoku  
Financial  
Group, Inc.

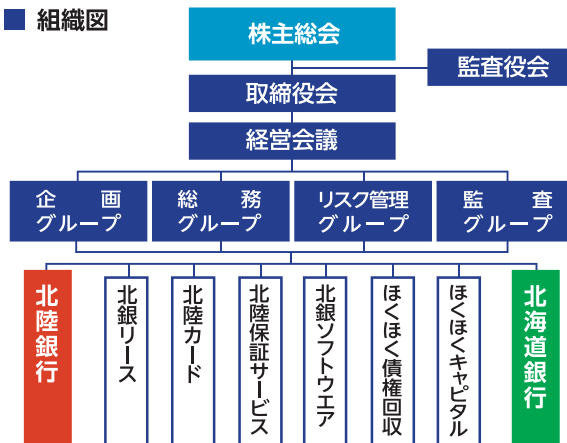
名 称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ  
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号  
業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理  
2. 上記経営管理業務に付帯または関連する業務

- 資本金 708億9,500万円
- 発行済株式 普通株式 1,391,630,146株  
第1回第5種優先株式 107,432,000株

### 取締役・監査役の役職および氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	高木 繁雄	取締役 庵 栄伸	
取締役副社長	堰八 義博	取締役 大島 雄次	
取締役	川合 哲	常勤監査役 須河 孝一	
取締役	笹原 晶博	監査役 南 義弘	
取締役	岩崎 民憲	監査役 林 則清	
取締役	木谷 哲也	監査役 前泉 洋三	

### ■ 組織図



### ■ グループ各社の内容

- (株)北陸銀行 ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っております。
- (株)北海道銀行 ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っております。
- 北銀リース(株) リース業務、代金回収業務などを行っております。
- (株)北陸カード JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っております。
- 北陸保証サービス(株) 住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っております。
- 北銀ソフトウェア(株) コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っております。
- ほくほく債権回収(株) 銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っております。
- ほくほくキャピタル(株) 株式公開の立案・アドバイス業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っております。



ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

■ グループの広域ネットワーク

(平成23年9月末)

海外

- ・上海駐在員事務所
- ・瀋陽駐在員事務所
- ・大連駐在員事務所
- ・シンガポール駐在員事務所
- ・ニューヨーク駐在員事務所
- ・ユジノサハリンスク駐在員事務所
- ・ロンドン駐在員事務所

北陸3県 149カ店

- 富山県 91カ店
- 石川県 36カ店
- 福井県 22カ店

北海道 157カ店

3大都市圏 17カ店

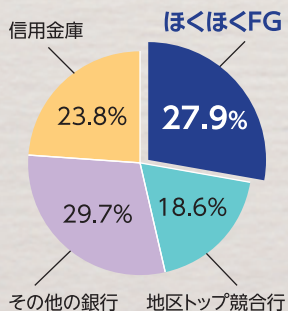
- 東京・横浜 10カ店
- 名古屋 3カ店
- 大阪・京都 4カ店

その他 4カ店 (仙台・新潟・長野・高山)

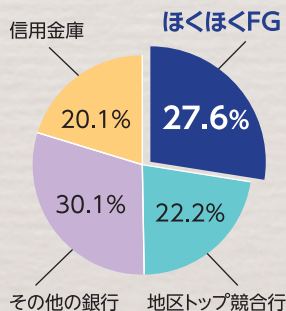
地域とのかかわり

■ 北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

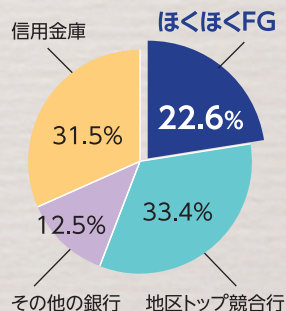


貸出金のシェア

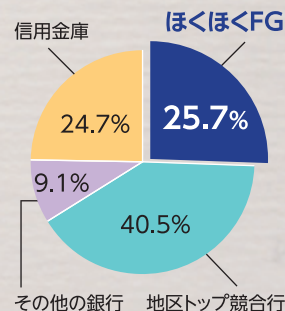


■ 北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア

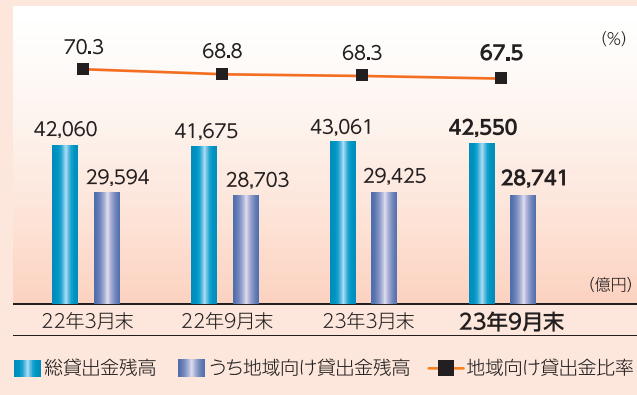


※シェアは、平成23年3月末現在 ※ 北陸財務局「北陸地域主要経済指標」、北海道財務局「北海道金融月報」、日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」より当社にて作成。  
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

## 貸出金の状況

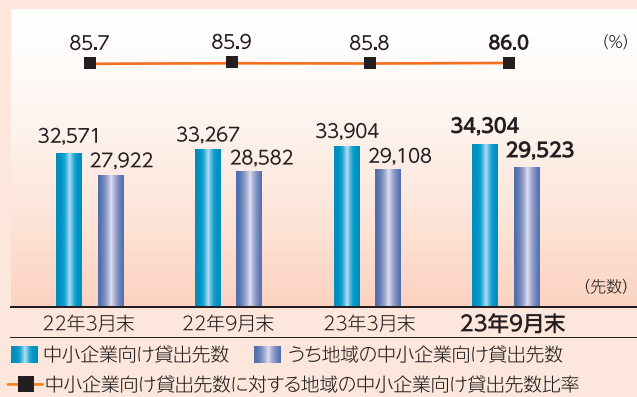
## ■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち、地域向け貸出金は2兆8,741億円となり、地域向け貸出金比率は67.5%となっております。



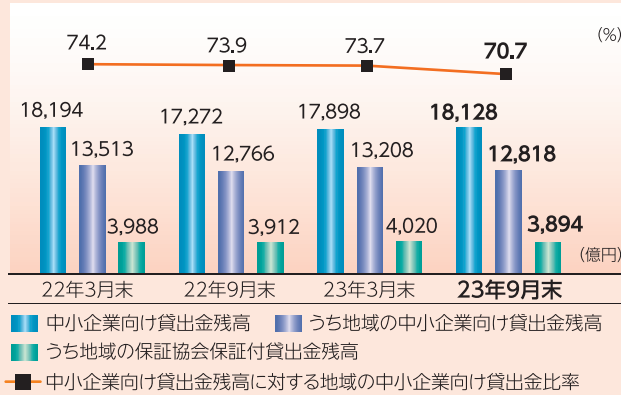
## ■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は34,304先で、そのうち地域の中小企業向け貸出先数は29,523先と86.0%を占めております。

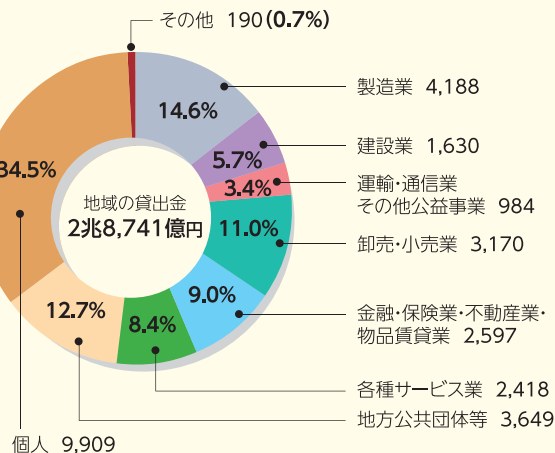


## ■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆8,128億円で、地域の中小企業向け貸出金は1兆2,818億円と中小企業向け貸出金の70.7%を占めております。



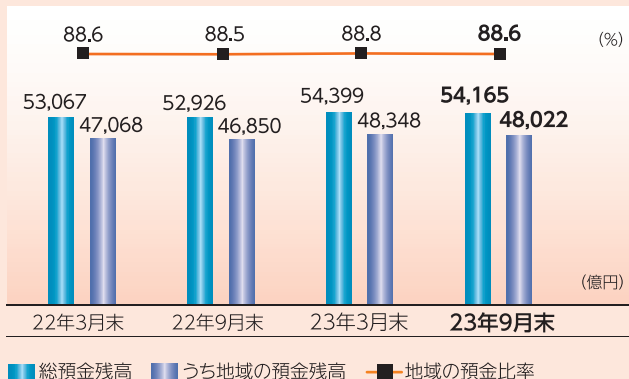
## ■ 地域の業種別貸出残高(平成23年9月末) (億円)



## 預金等の状況

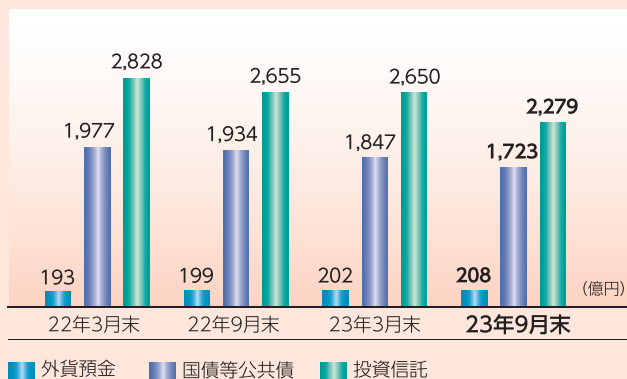
### ■ 地域の預金(譲渡性預金含む)の状況

総預金は5兆4,165億円、うち4兆8,022億円が地域の預金で、総預金の88.6%を占めております。



### ■ 投資型金融商品の状況

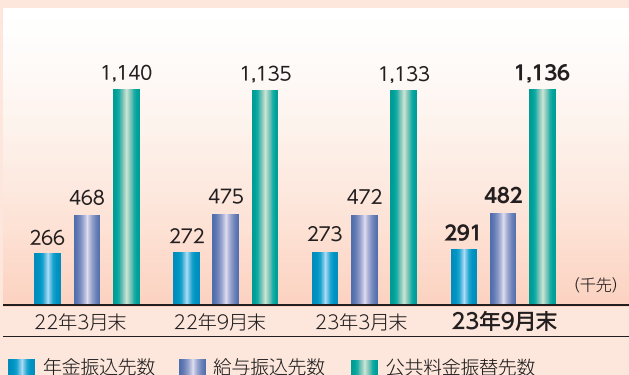
23年9月末の個人のお客さまに対する投資型金融商品の合計残高は4,211億円となりました。今後も、商品ラインナップの充実および販売体制の整備に努めてまいります。



地域とともに

### ■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は29万1千先、給与振込は48万2千先、公共料金の自動口座振替は113万6千先と多くのお客さまに家計のメイン口座として北陸銀行をご利用いただいております。



### ● <<夢ホーム倶楽部 クラブオブ>>サービス開始



北陸銀行では、お客さまのマイホーム取得をお手伝いするために「夢ホームA(エース)」をはじめとして、幅広く住宅ローン商品を取り揃えています。

また、58か所の「ほくぎんローンプラザ」では、専門スタッフがきめ細かいアドバイスを行い、お客さまの利便性向上に努めています。11月1日からは、住宅ローンご利用のお客さまを会員とする<<ほくぎん夢ホーム倶楽部 クラブオブ>>のサービスを開始いたしました。

## ビジネスマッチングの取り組み

北陸銀行では、グループの広域店舗網や海外ネットワーク機能を活用した各種情報の提供に努めています。また、お取引先企業に対してビジネス・サミットをはじめとする商談会等を開催し、ビジネスマッチングに積極的に取り組んでいます。

### 「伊藤忠グループ「食」の個別商談会」開催

6月23日、地元食品関連企業の販路拡大への支援として、伊藤忠グループのバイヤーを招いた食の個別商談会を開催しました。

本商談会はバイヤーを限定することで、よりきめ細かくニーズをマッチングさせ、より多くの成果を出すことを目指しています。

昨年の福井に続き、第2回目となる今回は金沢で開催し、44社の食品メーカーが参加しました。



### 「東海北陸モノづくりビジネス・サミット2011」開催

8月4日、大垣共立銀行と共催で製造業に特化した商談会「東海北陸モノづくりビジネス・サミット2011」を富山市で初めて開催しました。

伝統的な匠の技術や最先端技術を駆使したオンリー・ワン製品を開発する東海・北陸地域の71社の企業がブースを構え、バイヤーとなる国内大手・中堅メーカーとの受発注のマッチングや、新たなビジネスの機会を探りました。



今回は、富山大学工学部と金沢大学理工学域の協力を得て、主催者側が事前に地元メーカーの技術を評価し、発注者側に橋渡しするなど、マッチング率が高まるよう工夫しました。会場には約1,500人が訪れ、事前にセットした500件を含む約1,000件の活発な商談が行われました。

### 「成長分野ビジネスマッチング in とやま」開催

11月15日に開催された富山県主催の「成長分野ビジネスマッチング in とやま」に北陸銀行が協力しました。

当展示商談会では、有力バイヤー約40社と富山県内の環境エネルギー、健康福祉・医療関連企業51社が参加し関連商品の展示のほか、予約制の個別商談、フリー商談が行われました。

北陸銀行では、お取引先が有する技術や製品などを高く評価するバイヤーとのマッチング率が高まるよう、特色ある商談会の開催に努めていきます。

## 海外進出支援

昭和24年に地銀初の外国為替公認銀行として認可され、全世界にコルレス・ネットワークを構築するなど、北陸銀行は戦後のお取引先の国際化を積極的に支援してきました。近年の地域経済の国際化にも対応し、中国を中心とするアジア諸国の政府機関や有力外国銀行との連携に力を入れてきました。

### バンク・ネガラ・インドネシアと業務協力協定締結

4月26日、大手銀行のバンク・ネガラ・インドネシアと業務協力協定を締結しました。成長著しいインドネシアへの進出を検討する企業が北陸でも増えており、進出企業への支援体制を整えました。同国の人口は約2億4千人と世界第4位で、北陸銀行のお取引先では、すでに約40社が進出しています。

これで、提携する外国銀行等は9行となり、これまで以上にお取引先企業の海外進出を積極的にサポートしていきます。



### 海外ビジネスマッチング、グローバルセミナーの開催

海外でのビジネスマッチングを開催し、外国企業とのビジネスの橋渡しも積極的に行っています。9月6,7日には、地方銀行などが共催する「日中ものづくり商談会@上海2011」に参加しました。上海での商談会開催は今回で7回目となり、お取引先からは高い評価と期待をいただいています。

12月6,7日には大連のバイヤーを富山と福井に招聘し、「大連バイヤーズサミット」を予定するなど、営業の出会いの場を提供し、お取引先の海外事業展開をサポートしています。

また、中国・ASEAN地域における経済動向や投資環境など経済事情に応じたテーマによるグローバルセミナーを北陸3県中心に開催しています。



## 6月24日 産業調査部を新設

中期経営計画の基本理念である「頼られる銀行」への施策として、専門的な知識とノウハウを蓄積し、お取引先の経営コンサルティング



に生かすことを目的とした産業調査部を新設しました。

9月5日には、産業調査部が日医工医業経営研究所と包括的な連携・協定を締結し、情報交換を通して医業支援の強化を図っていきます。

## 8月12日 紹興市人民政府との経済交流の覚書を締結

現地で投資活動を行うお取引先や日本で事業展開をする紹興市の企業を相互支援する目的で、中国浙江省紹興市商務局と経済交流促進の覚書を締結しました。

紹興市は、日中国交正常化に尽力した周恩来首相相ゆかりの地で、周氏と親交が深かった政治家松村謙三氏の出身地である富山県南砺市の友好都市でもあります。



## 10月～11月 3出張所が支店昇格

中期経営計画「ハイブリッド I・S・M」の店舗戦略に基づき、10月に米松、11月に藤の木、泉野の各出張所が、それぞれ支店に昇格しました。これで出張所からの

## 7月15日 大連長城会を発足

1月に大連駐在員事務所を開設した中国・大連市で、大連、北京など現地に進出するお取引先約100社のネットワーク組織「大連長城会」を発足しました。

これにより中国関連の会員組織は「上海長城会」との2極体制となり、会員企業間の交流・支援を強化していきます。

大連、上海以外にも、日本国内の海外ビジネスを展開するお取引先で組織する「ほくりく長城会」、ASEAN地域を中心とする「ほくりくASEAN会」があり、会員企業の総数は約1,500社となっています。



## 学校法人金沢学院、学校法人金沢工業大学と「包括的な連携協力に関する協定」を締結

北陸銀行では、大学の持つ知的ノウハウを活用し、地元企業との共同研究や委託研究などを通じて、地域経済の活性化に寄与することを目的に、大学などとの連携に力を入れています。

7月15日は金沢学院、10月18日には金沢工業大学と包括的な連携協力に関する協定を締結しました。これで、大学との提携は10校目となります。

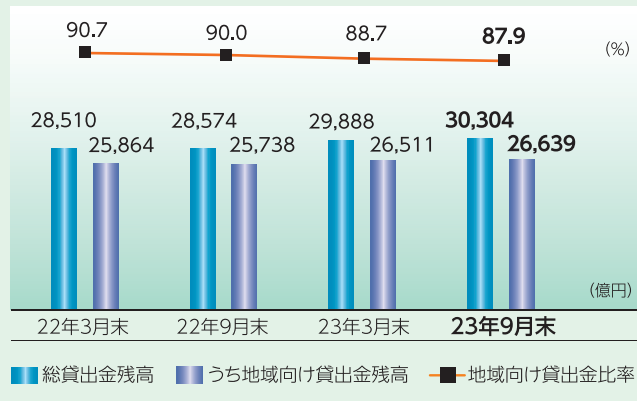
昇格店は8カ店になりました。

フルバンキング機能を備えつつ、主に個人や家業の皆さまに特化したサービスを提供し、これまで以上にそれぞれの地域で「親しまれ、頼りにされる銀行」を目指していきます。

## 貸出金の状況

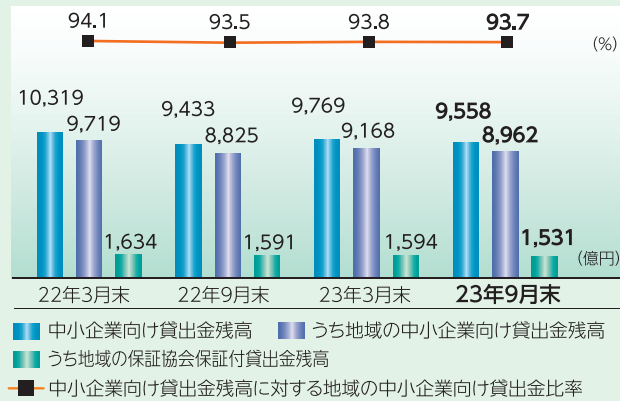
## ■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち地域向け貸出金は、2兆6,639億円となりました。  
地域向け比率は87.9%となっております。



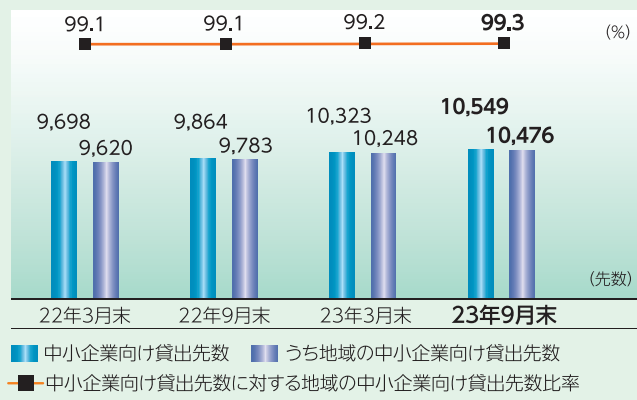
## ■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は9,558億円で、地域の中小企業向け貸出金は8,962億円となっており、地域向け比率は93.7%と地域のお客さまの資金需要に積極的にお応えしています。

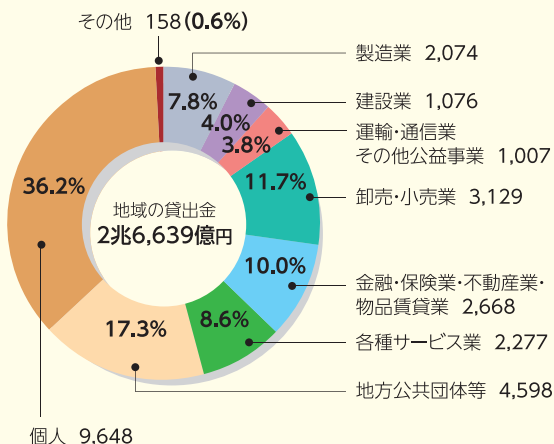


## ■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は10,549先で、そのうち地域の中小企業向けは10,476先となっております。



## ■ 地域の業種別貸出残高(平成23年9月末) (億円)

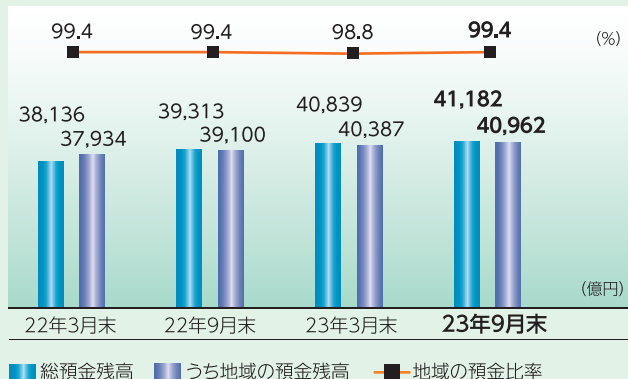


(注)「地域」とは、北海道銀行の主要営業基盤地域である北海道を指します。

## 預金等の状況

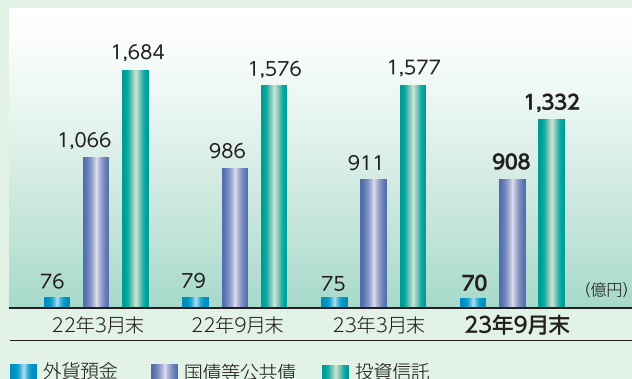
### ■ 地域の預金(譲渡性預金含む)の状況

総預金は4兆1,182億円となりました。うち4兆962億円が地域の預金で、総預金の99.4%を占めております。



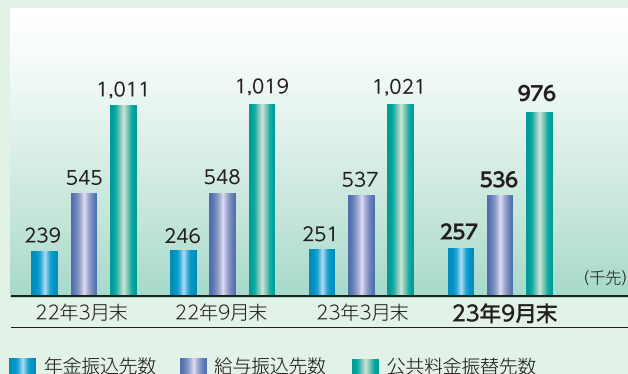
### ■ 投資型金融商品の状況

個人のお客さまに対する投資型金融商品の残高は、23年9月末で2,311億円となりました。



### ■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は25万7千先、給与振込は53万6千先、公共料金の自動振替は97万6千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



### ● 「ジャンボ宝くじ付き定期預金」発売継続!



「夢がついてくる!」でおなじみの、北海道銀行「ジャンボ宝くじ付き定期預金」は、平成15年の取扱開始以来、ご好評をいただいております。

「平成22年第596回『年末ジャンボ宝くじ』」でも、1等前後賞3億円の高額当せんが出ており、「4年連続の高額当せん」の実績はマスコミの注目を集めております。

現在では看板商品と言えるこの定期預金は、たくさんのお客さまに親しまれております。

## 海外進出支援

北海道銀行では、商談会やセミナーを通じて道内企業の海外展開を全面的にご支援しています。

### 「2011ビジネスマッチング in 瀋陽」開催

9月21日、中国進出を目指す道内の企業と瀋陽を中心とした中国企業との商談会を札幌商工会議所・札幌市等との共催で開催しました。

今回、道内からは15社が参加、中国側は過去最多の約70社の企業が参加し、多方面にわたり120件の商談が行われました。

また、このビジネスマッチングの開催に合わせて、9月22日から25日まで瀋陽遼寧工業展覧館で開催された「第5回中国東北アジア(瀋陽)輸出入商品博覧会」に北海道企業ブースを設け出展し、北海道観光の安全性・魅力をアピールしました。

### 「海外ビジネス支援セミナー」開催

中国(瀋陽市)とロシア(ウジノサハリンスク市)の駐在員事務所では、現地情報の収集・提供を通し、お客さまの海外進出支援を行っています。

10月4日、札幌市内においてお取引先の中国・ロシアへの海外展開を支援する「海外ビジネス支援セミナー」を開催し、道内企業から170名のご出席をいただきました。

本セミナーでは、両駐在員事務所長より、提供できるサービスや、海外進出の成功事例などを紹介し、また、外部講師による中小企業の海外進出に焦点を絞った講演を行いました。



### 「第2回北海道『観光』特別商談会 from 中国」開催

10月13日、中国の旅行業者を招き「第2回北海道『観光』特別商談会 from 中国」を開催しました。

道内からは、各地域の観光協会、温泉ホテル、アウトドア体験ツアーなど約70団体が参加し、北京や瀋陽から参加した25社の旅行会社幹部と400件以上の個別商談を実施後、取引先の視察を中心とした3泊4日のツアーを行いました。

北海道銀行は、お客さまの営業支援を通じ、外国人訪日誘致を切り口とした地域振興を重要視しています。



## アグリビジネス支援

北海道銀行ではアグリビジネス推進室が中心となり、アグリビジネスサポート体制を強化してきました。現在、日本政策金融公庫農林水産事業が認定する農業経営アドバイザーの資格者が金融機関で全国最多の22名となり、農業がわかる職員を営業店や本部に配置して農業生産者のサポートを行っています。

### ロシア農業視察

5月29日から6月3日にわたり、極東ロシアにおけるアグリビジネスの展開支援を目的に「ロシア農業視察」を開催しました。

今回は、ウラジオストク郊外からハバロフスク周辺の農業現場の視察や、大豆工場などを視察し、北海道の農業分野における寒冷地技術を活用したビジネスを探りました。

今後も、ウジノサハリンスク事務所を通じて、お取引先の海外展開を支援していきます。



### アグリビジネスフォーラム2011

6月10日、札幌市内において「アグリビジネスフォーラム2011」を開催しました。

北海道銀行では、平成10年よりビジネスフォーラムを開催しており、今回は、東北以北では初めての試みとして「植物工場」にスポットを当て、この分野の先進国であるオランダ大使館の農業担当者など6名の講師を招き講演が行われました。

会場では機器メーカーなど21社が出展し、併せて商談会も実施されました。当日は農業関係者や農業への参入を目指す企業の担当者など約1,000名が来場し、最先端のアグリ情報をいち早く提供する有意義なフォーラムとなりました。





### 6月1日 カシコン銀行との業務提携

カシコン銀行との間で、タイ王国における金融サービスや各種情報提供等の業務提携に関する覚書を締結しました。

道内金融機関とタイ王国の金融機関との業務提携は初めてとなり、提携銀行による現地でのタイパーツ建融資、各種金融サービスの提供や現地の市場、経済に関する情報提供などを行っていきます。

今後もお取引先のさまざまな海外ニーズにお応えできる体制の整備を図っていきます。



### 6月7日 中国行政機関との経済協力協定を締結

中国「遼寧省中小企業庁」、「瀋陽市旅游局」、「中国国際貿易促進委員会瀋陽市分会」との間で経済協力協定を締結しました。

この協定により中国瀋陽市と北海道の経済貿易交流、また観光事業交流を双方協力のもとに推進することが可能となり、企業協力パートナーの紹介など多方面で協力していきます。

### 10月11日 北海道銀行、りそな銀行、サークルKサンクスによる北海道でのATMサービスの共同化開始

北海道におけるサンクスのバンクタイムATM設置店で、北海道銀行とりそな銀行両行を幹事銀行とする共同ATMサービスを開始しました。



これにより、道内金融機関では初めてATMのほぼ24時間利用が可能になりました。

また、北海道地区におけるATM拠点数が道内トップとなり、お客さまの利便性向上に繋がるものと期待されます。

### 11月 出張所の支店昇格、店舗新築移転

11月14日、平岡パーク出張所が支店に昇格しました。

これに伴い、お客さまからの資産運用相談などへの一層の充実を図るため、担当スタッフを増員したほか、ご相談専用ブースや全自動貸金庫を設置しました。

### 「どうぎん親子で銀行体験」各地で開催

普段「銀行」に接する機会のない子ども達を対象に「どうぎん親子で銀行体験」を開催しました。

今夏は、北海道銀行の創立60周年記念事業の一環として、またこれまでの「親子で銀行体験」が好評だったことから、開催地を釧路・帯広・札幌・苫小牧・函館・旭川の道内主要都市に拡大し、「一億円体験」や「札勘」などの銀行体験を楽しんでいただきました。

今後も多くの親子に体験していただけるよう、継続して開催していきます。



また、11月21日には、天塩支店が新築移転しました。新店舗の外壁は、街並みに合わせたレンガ調となっています。店内には相談ブースを新設し、併せてATMの平日営業時間を延長するなど利便性を図りました。

多くのお客さまのご利用をお待ちしております。

## 中間貸借対照表 (平成23年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	8,350	流動負債	129
現金及び預金	8,161	未払配当金	80
前払費用	4	未払費用	31
未収収益	22	未払法人税等	11
未収還付法人税等	161	未払消費税等	2
固定資産	237,872	預り金	3
有形固定資産	1	その他	0
器具及び備品	1	固定負債	10,155
無形固定資産	1	社債	10,000
商標権	0	役員退職慰労引当金	155
ソフトウェア	0	負債の部合計	10,285
投資その他の資産	237,870	純資産の部	
関係会社株式	227,870	資本金	70,895
関係会社長期貸付金	10,000	資本剰余金	142,087
その他	0	資本準備金	82,034
		その他資本剰余金	60,052
		利益剰余金	23,524
		その他利益剰余金	23,524
		繰越利益剰余金	23,524
		自己株式	△568
		株主資本合計	235,937
資産の部合計	246,223	純資産の部合計	235,937
		負債及び純資産の部合計	246,223

## 中間損益計算書 (平成23年4月1日～平成23年9月30日) (単位:百万円)

営業収益	1,103
関係会社受取配当金	808
関係会社受入手数料	295
営業費用	255
販売費及び一般管理費	255
営業利益	848
営業外収益	72
関係会社貸付金利息	63
その他の営業外収益	8
営業外費用	111
社債利息	63
事務委託費	47
経常利益	809
特別損失	0
税引前中間純利益	809
法人税、住民税及び事業税	0
法人税等合計	0
中間純利益	808

## 中間株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
平成23年4月1日残高	70,895	82,034	60,052	142,087	28,732	28,732	△565	241,149	241,149	
当中間期変動額										
剰余金の配当	—	—	—	—	△6,016	△6,016	—	△6,016	△6,016	
中間純利益	—	—	—	—	808	808	—	808	808	
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△3	△3	△3	
自己株式の処分	—	—	△0	△0	—	—	0	0	0	
当中間期変動額合計	—	—	△0	△0	△5,207	△5,207	△3	△5,211	△5,211	
平成23年9月30日残高	70,895	82,034	60,052	142,087	23,524	23,524	△568	235,937	235,937	

## 中間連結貸借対照表 (平成23年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	321,105	預金	9,308,333
コールローン及び買入手形	88,814	譲渡性預金	200,974
買入金銭債権	106,734	コールマネー及び売渡手形	30,000
特定取引資産	9,143	特定取引負債	2,747
金銭の信託	3,946	借入金	314,938
有価証券	2,477,203	外国為替	113
貸出金	7,223,185	社債	41,500
外国為替	14,212	その他負債	202,004
その他資産	178,870	退職給付引当金	8,477
有形固定資産	110,051	役員退職慰労引当金	588
無形固定資産	45,781	偶発損失引当金	2,754
繰延税金資産	56,579	睡眠預金払戻損失引当金	1,591
支払承諾見返	98,373	再評価に係る繰延税金負債	8,589
貸倒引当金	△83,169	支払承諾	98,373
		負債の部合計	10,220,986
		純資産の部	
		資本金	70,895
		資本剰余金	153,188
		利益剰余金	185,484
		自己株式	△603
		株主資本合計	408,964
		その他有価証券評価差額金	11,634
		繰延ヘッジ損益	△46
		土地再評価差額金	8,277
		その他の包括利益累計額合計	19,866
		少数株主持分	1,016
		純資産の部合計	429,847
資産の部合計	10,650,834	負債及び純資産の部合計	10,650,834

## 中間連結損益計算書 (平成23年4月1日～平成23年9月30日) (単位:百万円)

経常収益	105,702
資金運用収益	72,173
(うち貸出金利息)	(59,247)
(うち有価証券利息配当金)	(11,657)
役員取引等収益	18,813
特定取引収益	518
その他業務収益	12,417
その他経常収益	1,779
経常費用	86,721
資金調達費用	7,410
(うち預金利息)	(5,283)
役員取引等費用	6,505
その他業務費用	5,709
営業経費	56,368
その他経常費用	10,726
経常利益	18,981
特別利益	0
特別損失	1,125
税金等調整前中間純利益	17,855
法人税、住民税及び事業税	3,816
法人税等調整額	4,993
法人税等合計	8,810
少数株主損益調整前中間純利益	9,045
少数株主利益	80
中間純利益	8,965

## 中間連結株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	その他の包括 利益累計額合計		
平成23年4月1日残高	70,895	153,188	182,131	△600	405,614	11,419	3	8,683	20,105	938	426,658
当中間期変動額											
剰余金の配当	-	-	△6,016	-	△6,016	-	-	-	-	-	△6,016
中間純利益	-	-	8,965	-	8,965	-	-	-	-	-	8,965
自己株式の取得	-	-	-	△3	△3	-	-	-	-	-	△3
自己株式の処分	-	△0	-	0	0	-	-	-	-	-	0
土地再評価差額金の取崩	-	-	405	-	405	-	-	-	-	-	405
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	215	△49	△405	△239	78	△161
当中間期変動額合計	-	△0	3,353	△3	3,349	215	△49	△405	△239	78	3,188
平成23年9月30日残高	70,895	153,188	185,484	△603	408,964	11,634	△46	8,277	19,866	1,016	429,847

## 中間貸借対照表 (平成23年9月30日現在)

(単位:百万円)

<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	212,140	預金	5,260,162
コールローン	4,215	譲渡性預金	156,363
買入金銭債権	106,718	コールマネー	30,000
特定取引資産	6,672	特定取引負債	2,747
有価証券	1,285,758	借入金	190,103
貸出金	4,205,710	外国為替	65
外国為替	6,501	その他負債	84,769
その他資産	57,515	退職給付引当金	112
有形固定資産	82,522	役員退職慰労引当金	267
無形固定資産	9,420	偶発損失引当金	2,117
繰延税金資産	34,085	睡眠預金払戻損失引当金	982
支払承認見返	58,041	再評価に係る繰延税金負債	8,589
貸倒引当金	△41,336	支払承諾	58,041
		<b>負債の部合計</b>	<b>5,794,324</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	58,123
		利益準備金	6,003
		その他利益剰余金	52,119
		繰越利益剰余金	52,119
		株主資本合計	213,532
		その他有価証券評価差額金	11,878
		繰延ヘッジ損益	△46
		土地再評価差額金	8,277
		評価・換算差額等合計	20,109
		<b>純資産の部合計</b>	<b>233,641</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>6,027,966</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>6,027,966</b>

## 中間損益計算書

(平成23年4月1日～)  
(平成23年9月30日) (単位:百万円)

経常収益	54,055
資金運用収益	41,264
(うち貸出金利息)	(33,075)
(うち有価証券利息配当金)	(7,089)
役員取引等収益	9,448
特定取引収益	467
その他業務収益	2,118
その他経常収益	755
経常費用	40,159
資金調達費用	4,596
(うち預金利息)	(3,203)
役員取引等費用	3,472
営業経費	28,567
その他経常費用	3,523
経常利益	13,895
特別損失	1,086
税引前中間純利益	12,809
法人税、住民税及び事業税	27
法人税等調整額	5,821
法人税等合計	5,849
中間純利益	6,960

## 中間株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金							利益剰余金 合計
平成23年4月1日残高	140,409	14,998	14,998	6,003	44,754	50,758	206,166	11,757	3	8,683	20,443	226,609
当中間期変動額												
中間純利益	-	-	-	-	6,960	6,960	6,960	-	-	-	-	6,960
土地再評価差額金の取崩	-	-	-	-	405	405	405	-	-	-	-	405
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	121	△49	△405	△333	△333
当中間期変動額合計	-	-	-	-	7,365	7,365	7,365	121	△49	△405	△333	7,031
平成23年9月30日残高	140,409	14,998	14,998	6,003	52,119	58,123	213,532	11,878	△46	8,277	20,109	233,641

中間貸借対照表 (平成23年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	108,736	預金	4,066,196
コールローン	84,599	譲渡性預金	52,011
商品有価証券	2,471	借入金	149,770
金銭の信託	3,946	外国為替	47
有価証券	1,180,114	社債	15,000
貸出金	3,030,462	その他負債	92,169
外国為替	7,711	退職給付引当金	8,008
その他資産	85,267	役員退職慰労引当金	146
有形固定資産	32,041	偶発損失引当金	636
無形固定資産	8,868	睡眠預金払戻損失引当金	608
繰延税金資産	22,856	支払承諾	29,452
支払承諾見返	29,452		
貸倒引当金	△26,888		
		負債の部合計	4,414,046
		純資産の部	
		資本金	93,524
		資本剰余金	16,795
		資本準備金	16,795
		利益剰余金	41,178
		利益準備金	5,117
		その他利益剰余金	36,060
		繰越利益剰余金	36,060
		株主資本合計	151,497
		その他有価証券評価差額金	4,094
		評価・換算差額等合計	4,094
		純資産の部合計	155,592
資産の部合計	4,569,639	負債及び純資産の部合計	4,569,639

中間損益計算書 (平成23年4月1日～平成23年9月30日) (単位:百万円)

経常収益	43,289
資金運用収益	30,868
うち貸出金利息	(26,076)
うち有価証券利息配当金	(4,622)
役員取引等収益	7,391
その他業務収益	3,958
その他経常収益	1,071
経常費用	37,812
資金調達費用	2,804
うち預金利息	(2,083)
役員取引等費用	3,672
その他業務費用	871
営業経費	24,880
その他経常費用	5,583
経常利益	5,476
特別損失	35
税引前中間純利益	5,441
法人税、住民税及び事業税	3,334
法人税等調整額	△797
法人税等合計	2,536
中間純利益	2,905

中間株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金				
平成23年4月1日残高	93,524	16,795	16,795	4,956	34,122	39,079	4,144	4,144	153,542
当中間期変動額									
剰余金の配当	-	-	-	161	△966	△805	-	-	△805
中間純利益	-	-	-	-	2,905	2,905	-	-	2,905
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	△49	△49	△49
当中間期変動額合計	-	-	-	161	1,938	2,099	△49	△49	2,050
平成23年9月30日残高	93,524	16,795	16,795	5,117	36,060	41,178	4,094	4,094	155,592

## 株式のご案内

決算期	毎年3月31日
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
1単元の株式数	1,000株
証券コード	8377
上場金融商品取引所 (普通株式)	東京証券取引所(第一部) および札幌証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページに 掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告による公告をすることが できない場合は、 日本経済新聞に掲載します。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス (決算公告を含む) ( <a href="http://www.hokuhoku-fg.co.jp/">http://www.hokuhoku-fg.co.jp/</a> )
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社

## 株式に関する諸手続きについて

## ① 普通株式をご所有の株主さま

## ■ 「一般口座」に記録されている株式

住所変更等の各種お届け出につきましては、口座を開設されている証券会社等<sup>※</sup>が窓口になります。

※配当金領収証による未払配当金(支払期間経過後の株式配当金)は、株主名簿管理人であるみずほ信託銀行、みずほインベスターズ証券およびみずほ銀行の本支店が窓口になります。

## ■ 「特別口座」に記録されている株式

「特別口座」に記録された株式に関する振替請求や、住所変更等の各種お届け出につきましては、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行およびみずほインベスターズ証券の本支店<sup>※</sup>が窓口になります。

※配当金領収証による未払配当金のみ、みずほ銀行の本支店も窓口になります。

## ② 優先株式をご所有の株主さま

みずほ信託銀行およびみずほインベスターズ証券の本支店において各種ご請求・お届け出を承っております。

## お問合せ先・郵便物の送付先

## ● 各種お手続きに関するご質問・お手続き書類の請求先

フリーダイヤル **0120-288-324**

受付時間：平日9時～17時(土曜日・日曜日・祝祭日を除く)

## ● 郵送によるお手続き書類の提出先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

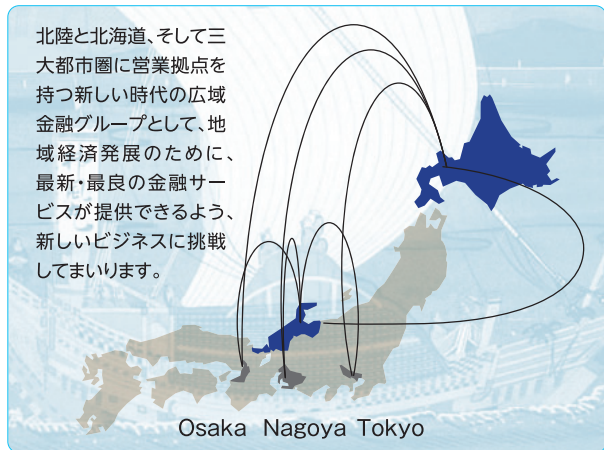
**地域共栄**      社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

**公正堅実**      公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

**進取創造**      創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

■ Hokuhoku Network

北陸と北海道、そして三大都市圏に営業拠点を持つ新しい時代の広域金融グループとして、地域経済発展のために、最新・最良の金融サービスが提供できるよう、新しいビジネスに挑戦してまいります。



■ コーポレートマーク

垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着いたブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表しています。



■ ホームページのご案内

ほくほくフィナンシャルグループ

ほくほくフィナンシャルグループの概要、経営戦略、財務データ、IR情報など最新の情報から過去のデータまでご覧いただけます。

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>



北陸銀行

取扱商品・サービスやキャンペーンのお知らせから店舗やATM(コンビニATMを含む)の所在地・ご利用時間まで、さまざまな情報を詳細かつタイムリーに掲載しております。

<http://www.hokugin.co.jp/>



北海道銀行

各種商品・サービス、セミナーのご案内、トピックスなどをタイムリーに掲載しています。また、定期預金、各種ローンの簡単なシミュレーションもご利用いただけます。

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>



**株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ**

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

**株式会社 北陸銀行**

**総合企画部広報グループ**

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

**株式会社 北海道銀行**

**経営企画部広報CSR室**

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel:011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>